

森と創るサステナブルな 青森 —ウルシがつなく STEAM教育の可能性—

2025年8月9日(土)
13:30~15:00

弘前大学
教育学部棟1階
中教室

参加無料

申込方法:
右の二次元コード
またはURLから
Formsに接続し、
必要事項を記入
し送信ください。



<https://forms.office.com/r/8vvPArmqBX>

お問合せ:
弘前大学教育学部総務部
次世代ウェルビーイング研究センター担当
Tel:0172-39-3962
E-mail: jm3962@hirosaki-u.ac.jp

2015年の文化庁通達により、国宝及び重要無形文化財の修復に国産漆使用が義務付けられたことで、ウルシ林の造成が全国的に注目されています。青森県では2021年、就労継続支援B型事業所きりんの里と林業コンサルタントミミズくが、ウルシ植栽を通じた障がい者の安定的かつ持続可能な労働確保、放置山林の持続的な活用・維持を目指す「きりんうるしプロジェクト」を開始し、2025年には、福祉関係者や研究者らを交えたReNeW津軽が立ち上がりました。弘前大学教育学部附属次世代ウェルビーイング研究センターは、彼らフロントランナーとともに、高校生、大学生が障害のある人々と協働し、ウルシ植栽の持続可能性を体験的に学習する教育プログラムの開発をおこなっています。



プログラム

13 : 30 - 13 : 50

1/ 青森県におけるウルシ資源の今昔

高橋憲人（弘前大学教育学部附属次世代ウェルビーイング研究センター・助教）

13 : 50 - 14 : 00

2/ 国産ウルシの増産と林福連携

五所川原農林高等学校森林科学科生徒

14 : 00 - 14 : 10

3/ 障害福祉発、きりんうるしプロジェクト

小林真弓（きりんの里事務局長）・きりんの里利用者

14 : 10 - 14 : 20

4/ 「ReNeW津軽」紹介について

小林慎之介（ReNeW津軽代表）

14 : 20 - 15 : 00

5/ ウルシと生きる青森の未来を考える

会場を交えたディスカッション